



経済産業大臣賞の受賞を喜ぶレクサー・リサーチの社員＝鳥取市千代水2丁目、同社

中村社長(レクサー!)リサーチ(経産大臣賞)

作業効率化システム開発

ものづくり大賞

製造業の振興に貢献した人材を顕彰する国の「ものづくり日本大賞」で、効率的な生産ラインの設計システム「GP4」を開発した、レクサー・リサーチ(鳥取市千代水2丁目)の中村昌弘社長ら10人が経済産業大臣賞を受賞した。2007年に発売し、既に大手電機メーカーなど70社程度が活用。製造業を取り巻く経営環境が厳しさを増す中、迅速な新商品の投入、量産に役立っていると、高い評価を受けた。

製造業の現場ではこれまで、判明した課題を踏まえて、生産ラインを稼働させ、作業効率を上げるた

めの改良(カイゼン活動)を繰り返してきた。

これに対し、GP4はパソコン上に工場に擬した仮想空間を作り上げ、設備や部品の置き場に加え、作業者を配置。入力した想定する生産手順に基づき、作業者を含めたラインが動き、効率化に向けた問題点を確認、洗い出すことができる。

さらに、ラインの設計変更もマウスで簡単に操作できるため、問題点が解消できたかどうか、検証が可能。商品の製造面だけでなく、コストの削減にもつながる。

受賞を受け、中村社長

は「製造業は日本経済の屋台骨。ITを生かし、高度化に貢献していく」と今後の抱負を述べた。

ものづくり日本大賞は05年に創設し、隔年で選出している。今回は全国から423件の応募があり、内閣総理大臣賞(7件)や、経産大臣賞(14件)などを選んだ。

山陰両県では、レクサー・リサーチ以外に、業界最速の秒速3分で上昇するシートシャッター「超高速ハッピーゲート門番システム」を開発した小松電機産業(松江市乃木福富町)や、自動車の無段変速機に使われる金属製ベルト材の製造方法を開発した日立金属安来工場(安来市安来町)の社員らが、経産大臣賞に次ぐ「優秀賞」を受けた。